

ポートランド旅行記

2年8組

私の小さい頃からの夢だったアメリカでの生活は、人生で最もすばらしい思い出の1つになったでしょう。こんなことはめったにないということで、喜んで私の親も賛成してくれました。というわけで、アメリカに出発する何カ月か前から少しだけ英会話のTVを見たり、AETのメリッサさんの講義を受けたりしました。全然不安はなかったつもりでしたが、いざ出発する日が近づいてくるとあだこおだと考え込みほんの少しだけ行くのをためらってしまいました。でも、行って本当に良かったと思います。

行きの飛行機の中での8時間半は、長かった気がします。ポートランドに着いたら、本当はその日は北陵生6人と先生でマロリーホテルに泊まり、次の日各ホストの人たちがホテルに迎えに来て、そこからみんなばらばらに別れるはずだったのですが…なんと、いきなり到着したら私のホスト（ヤングシン）のお父さんが私を韓国の教会に連れて行ってしまったので、その時はビックリしました。そこではクリスマスパーティーをやって、ヤングシンはピアノを弾いていました。

私のホスト、ヤングシン=キム()は韓国人の16歳。9年前にアメリカに来たそう、だから韓国語と英語、2カ国語も話せます。特技は私と同じバレーボールと水泳。あとピアノも(私できないけど)。兄弟は別々に暮らしていて、今は父、母、そしてヤングシンの3人で暮らしています。お父さんは日本語を勉強しているらしく、けっこう上手。その家は1階がお店(艸屋)で、1階と2階に2つの台所があり驚いた。そして「好きな時にいつでもここにあるジュースを飲んでもいいんだよ」と言われなんだかうれしかったです。透明なペプシがあったのには「お～」と思いました。リンカーン高校に行く時、毎日ホストマザーは、お店にあるお菓子を紙袋にいっぱい入れて持たせてくれお腹がすく時がなく、お腹がすきたかったほどです。

ポートランドに着いたその日は、クリスマスでディナーにはターキーなど豪華でした。クリスマスになると、どこの家もカラフルな電球などを外に飾るらしく、中でも



すごくたくさんさんの電球を飾っている家々がある通りをその夜3人で見にいきました。本当いっばいの電球があり、眩しいくらいに明るくきれいでした。まるで札幌のイルミネーションが家にくっついたよう。たくさんの人たちが見に来て、車が混雑してたほどです。あまりにも疲れて、2・3分の間、間違っ寝てしまいました。ポートランドにいた間、私は疲れてしまっいつのまにか寝てしまうことが多かったせいか皆に「よく寝る子」と思われてしまいました。私がオレンジシャーベットが好きだということをした日から、毎日のようにシャーベットなどを容器にたくさんもってくれたのでおかげで体重がふえてしまいました。アメリカにいる人はよくたべるな



あというのが第一印象。本当は違うと思うけど、みんな暇さえあれば何か食べてるようにさえ見えました。食事にしても私は自分の目の前に出された物は全部食べなきゃと思い、量が多いけど頑張って食べて、さっきいったようにお腹がすくことが全然ありませんでした。パイキングに行った時なんて、私は肉、サラダ、デザートなどその

他もろもろがんばって(みんなあわして...) 食べて一息ついて顔を上げると、ホストマザーが「、今日は全然食べないね」。私は「・・・」と思ってしまいました。でも毎日栄養のあるものを食べさせてくれ感謝しています。

ある日、私はホストマザーと2人でCOSTCOという大きい店に行きました。そこは北陵の新体育館の3~4倍の広さで、高さ6~7mぐらいあり商品が天井までドーン！と山積みされていて豪快。そして安い。なんでも普通より大きくて驚いた。例えば、ひき肉。普通はパックの中に肉が入っているが、ここではバカでかいひき肉にパックがチョコン！とくっついてる感じ。あと縦25cm, 横45cm, 高さ10cmぐらいの長方形のケーキが1500円で買えたりととにかく安い。でも、クリームがくどくスポンジがパサパサでう〜むという感じ。不思議に思ったことは、缶ジュースの山ずみのとなりにタイヤの山ずみが… おもしろいことに、猫の椅子がお菓子の売ってるところへんにありました。



この前、私が具合悪かった時ホストマザーがよくきく薬をくれました。その薬はなんと、どピンクのドロドロしたもので、まるでピンクの絵具を濃く水で溶かしたようでした。味はサロンパスそのもの。臭いをかぐだけで具合が悪くなり、鼻をつまんでやっとなら飲みました。何日か後、車の中でホストマザーから「あめを食べる？」ときかれ、喜んでそのあめを口に入れると口の中がいきなりサロンパス。失敗したと思い、かじるともっとサロンパス。でも、顔を変えちゃいけないと窓の外を1人でみていました。

12月31日(日本では1月1日)、その日、外はけっこう雪が降っててポートランドでこういう天気は珍しいらしく、ヤングシンは私の風邪が移って具合が悪いのに昼食をとったあと何枚も服を重ねて(ちなみにお下3枚)、外に出て道に寝っ転がって手だけ上下に動かして、「エンジェル」と言ってたくさんのエンジェルのあとをつくって楽しんでいました。寒いけど私もこういう時は行かなきゃと、2人で遊んでたらやっぱりホストマザーとホストマザーに怒られてしまいました(2人で風邪をひいてるから)。それでもこりず、家に入ってバレーボールをしました。これはホストマザーが見てる前で決してできることではないのですが、内緒で。その後、昼寝をしたりTVを見たり。夕食は赤飯、味噌汁、キムチなど、日本食。ときどき、こういうのが出たので日本食が恋しいとはあまり思いませんでした。PM11時、まだお腹がいっぱいでしたが日本のスタイルということで、みんなでうどんを食べました。ホストマザーはうどんがそばだと思っていたらしいです。私達はTVを見ながらゲームをして年を越しました。はやく年賀状が見れないのが残念でした。その後、レンタルビデオでハムレットを見ました。その2・3日前にCHILD'S PLAYなどを見た時は、悲鳴が多くてけっこう理解できたけど、ハムレットは全然ちんぷんかんぷんでした。

アメリカでは、正月よりクリスマスを重要視しているようで正月は平凡な日でした。

。

1月3日(日本では1月4日)は、ちょうど私の17歳の誕生日でした。その夜、3人で祝ってくれそして、パジャマをプレゼントしてくれました。カードもそえて。ホストファザーは、日本語で書いてくれちょっとてれくさかったけど嬉しかったです。

ちゃんのホストのお母さんのペニーさんが、ちゃんと私の3人を買物に連れてってってくれました。ペニーさんは、安いところをいつもメモっているそりで行く店々でみんな「安い〜!」と言って歩き回ったほどです。夕食はマクドナルドで。アメリカのジュースのMサイズは、日本のLサイズぐらいで、だからSサイズで充分でした。ペニーさんは、昔バレーボールのオリンピックの選手だったそりで交通事故で背中を痛めて引退したそりです。すごい人に出会ってしまったと思いました。ペニーさんはとても楽しい人でした。

日本に帰る前の夜、北陵生とそのホストの人達でゲームセンターがあるレストランに行きました。ゲームはたった25セントででき、激安。私達は帰るのがおしく、テンションを上げてデパートでブラブラしました。ボディガードのCDが2000円以下で売っているのをみつけ驚いてしまいました。よくラジオでI WILL ALWAYS LOVE YOUがながれていて、アメリカの人達はその曲を歌ってました。英語で歌うのは当たり前なのですが、目の前で歌われるとなんだか感動してしまいました。



アメリカの街並はきれいで映画で見たのと同じ。本当にたくさんの教会があり、道路を走るマックスという乗物もありました。それは、街の中だけだったので便利でした。驚いたことはセブンイレブンにドライブスルーがあること、デパートのエスカレーターの隣でビシッとスーツをきめた男の人がピアノを弾いてたこと。それに、みず知らずの人が気楽に話しかけてたこと。など、その他いろいろ。だから、毎日が驚きと感動でした。新鮮な気分でもありました。私達が訪れた時ポートランドでは雨や雪が降った日が多く、いつになく寒かったです。アメリカではいろんな人がいて、いろんな街があり、いろんな生き方があります。決して良いことばかりではなかったのですが、今となっては思い出の1つ。勉強になったことも数多くあります。別れは辛かったけど、一生の別れではないと信じています。ホストファザー、ホストマザー、ヤングシンそしてその他のたくさんの人にお世話になり、ありがとうございました。こんなにすばらしい体験ができ、すべての人に感謝します。

